

平成 30 年第 3 回雲仙市議会定例会

市 長 報 告
(開 会)

平成 30 年 8 月 30 日

雲仙市長 金澤 秀三郎

【「平成三十年七月豪雨」における本市の被害について】

「平成三十年七月豪雨」における本市の状況につきましては、7月6日に時間雨量64ミリの非常に激しい雨を記録し、広い範囲で被害をもたらしております。

農業用施設等災害につきましては、農地被害が15箇所、農道、水路の施設被害が9箇所、また、公共土木施設災害につきましては、市道35箇所、河川6箇所で被害が発生しており、復旧に要する概算総事業費は85,336千円と試算しております。

今後、早期の復旧と、防災・減災に向けた市民の皆様の安全、安心の確保に向け努めてまいります。

【諫早湾干拓事業を巡る動きについて】

7月30日、平成22年の福岡高裁確定判決の執行力の排除を求めて国が提起した請求異議訴訟について、福岡高裁から強制執行を許さないとする判決が出されました。

国において、近年、開門しない方向での判断が重ねられてきたところであり、今回の判決は、この流れに沿ったものと認識しております。

今後におきましても、これまで同様、防災、農業、漁業、環境の観点から、市民の安全・安心を第一に考え、長崎県及び諫早市と連携をとりながら対処してまいる所存であります。

【交通安全功労者表彰について】

8月29日、「平成30年度交通安全功労者表彰式」が開催され、小浜町の内藤廣喜様が受賞されました。

今回の受賞は、長年にわたり地域の交通安全活動に取り組まれたことが高く評価されたものであり、心からお祝い申し上げますとともに、今後におきましても、市民に対する交通安全運動の推進、交通事故防止啓発等に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

【ジュニアスポーツの活躍について】

小中学生の活躍につきましては、7月27日から29日にかけて開催された「第35回全国少年少女レスリング選手権大会」に土黒小学校の内野結心さんが出場され、3位の成績を収められました。

また、7月28日から29日にかけて開催された「第36回全九州小学生ソフトボール大会」に国見少年ソフトボールクラブが出場され、準優勝の成績を収められ、8月3日から6日にかけて開催された「第32回全日本小学生男子ソフトボール大会」に愛野暁少年ソフトボールクラブが出場され、3位の成績を収められました。

さらに、8月25日から26日にかけて開催された「第45回長崎県少年ソフトボール大会」に出場された多比良少年ソフトボールクラブが優勝、愛野暁少年ソフトボールクラブが準優勝の成績を収められております。

高校生の活躍につきましては、7月7日から15日にかけて開催された「第12回世界男子ジュニアソフトボール選手権大会」に松尾翔輝様が日本代表に選出され、世界2位の結果に大きく貢献されました。

心からお祝い申し上げますとともに、出場されました皆様の今後の更なるご活躍を期待いたしております。

【長崎県中学校総合体育大会の結果について】

7月28日から30日にかけて開催された「長崎県中学校総

合体育大会」において、市内中学校を代表する生徒の皆さんが 11 競技に出場されました。

個人種目では、陸上競技共通男子砲丸投げで、国見中学校の稲本喬弘さんが、同じく共通男子 800m で、愛野中学校の小川碧さんが、見事優勝を果たされ、同じく共通男子棒高跳びで、国見中学校の堀田大雅さんが第 2 位という成績を収められました。

また、柔道競技男子 73kg 級で、吾妻中学校の宮崎希海さんが第 2 位という成績を収められました。今申し上げた選手の皆さんは、8 月初旬に行われた九州大会に出場されました。

なお、陸上競技共通男子砲丸投げで、優勝された国見中学校の稲本喬弘さんは、全国大会参加標準記録を突破し、8 月 18 日から 21 日にかけて開催された全国大会にも出場されております。

心からお祝い申し上げますとともに、出場されました皆様の今後の更なるご活躍を期待いたしております。

【若年者ものづくり競技大会について】

7 月 29 日から 8 月 1 日にかけて開催された「第 13 回若年

者ものづくり競技大会」のフライス盤において吾妻町の、島原工業高等学校の岩永健太郎さんが、見事、金賞となる厚生労働大臣賞を受賞されました。

この受賞は、岩永さんの日頃からのたゆまぬ努力で技術を磨かれてこられた成果であり、心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を期待いたしております。

【全国高等学校家庭クラブ研究発表大会について】

7月26日から27日にかけて開催された「第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会」において、九州ブロックを代表して出場された長崎県立小浜高等学校家庭クラブが全国家庭科教育協会賞を受賞されました。

この受賞は、平成26年度から「薬草を日常生活に取り入れる工夫や普及活動」について取り組まれた同クラブでの研究の成果であり、心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を期待いたしております。

【雲仙市中学校弁論大会について】

7月25日に開催された第13回雲仙市中学生弁論大会にお

いて、各中学校の代表 14 名が登壇し、最優秀賞に選ばれた愛野中学校の大久保花笑さんは、7月31日に開催された県大会に出場され、優秀賞を受賞されました。

大久保さんを始め、市の大会に出場された 14 名の中学生の皆さんのご健闘を称えるとともに、今後益々のご活躍を期待いたしております。

【平成 30 年度九州・沖縄地区青年農業者会議について】

7月25日から26日にかけて開催された「平成30年度九州・沖縄地区青年農業者会議」の意見発表において、繁殖和牛の経営について発表された千々石町農業研究会の山中勝眞様が最優秀賞を受賞され、来年2月に開催される「全国青年農業者会議」に出場されると伺っております。

心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

続きまして、主な市政の取り組み等について、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

8月5日に開催された「第34回長崎県消防ポンプ操法大会」に雲仙市代表として吾妻支団、千々石支団が出場いたしました。

両支団におかれましては長期間に亘る厳しい訓練を重ねられ、訓練の成果を十分に発揮し、惜しくも入賞を逃したものの、見事な操法を披露されました。

関係支団の皆様並びにご指導いただきました小浜消防署署員をはじめとする多くの方々のご支援に対し、この場をお借りしまして深く感謝を申し上げます。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

7月11日、訪日外国人観光客向けに情報発信やツアー企画などを行っておられます株式会社フリープラス様と、インバウンド対策支援に関するアドバイザー協定を締結いたしました。

今後は、中長期的な誘客プランを作成し、外国人観光客の増加を目指すと共に、市内の観光関係者にプランに基づいた事業展開を行うよう、助言・指導をおこなっていただく予定

となっております。

魅力的な観光商品の造成に関する取り組みにつきましては、8月1日、地域資源を活用した滞在プログラムの開発や雲仙市の新たな観光事業の開発などを担当する地域おこし協力隊として、近藤哲郎さんが着任いたしました。

隊員となった近藤さんには、これまでの経験と豊かな感性を活かした企画や情報発信を行っていただき、雲仙市の観光振興に寄与していただくよう期待するものでございます。

観光の振興につきましては、7月29日に、音楽と農業体験イベント「#MINIFES In Chijiwa」が、また、8月11日の山の日には、音楽と自然体験イベント「雲仙△フェス 2018」が開催されました。

市民主体として開催された2つのイベントには、市内外から多くの来場者が訪れ、音楽や体験活動など多彩な催しを楽しみ、大変賑わっておいりました。

実行委員の皆様をはじめ関係各位のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

国際交流につきましては、7月23日から26日にかけて、韓国求礼郡から12名の中学生を雲仙市にお迎えし、また、7

月 31 日から 8 月 4 日にかけては、雲仙市の中学生 12 名が求礼郡等を訪問し、体験型活動や学校訪問、施設見学等を行い、相互交流を深めました。

交流を行った皆様が、海外での貴重な経験を通して、将来、国際感覚を兼ね備えた地域のリーダーとして育ってくれることを期待しております。

企業誘致と起業支援につきましては、平成 27 年度に本市と立地協定を締結しておりました有限会社和泉屋様の新社屋完成披露パーティが 8 月 27 日に行われました。

この度竣工の運びとなった新しい工場と観光施設は『長崎カステラランド』と命名され、地域経済への波及のみならず、雲仙市の新たなランドマークとして、今後の雲仙市の発展に大きく寄与するものと思っております。

有限会社和泉屋様の発展と、井上代表取締役様はじめ社員皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

【基本方針 4 「人材と郷土の分野について」】

ラジオ体操の推進につきましては、7 月 21 日、「市民ラジオ体操会」を市内 7 会場にて一斉に開催し、また、7 月

31日には、愛野運動公園で「平成30年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が開催され、体操会の模様がNHKラジオを通じて全国に生放送されました。

早朝からお集まりいただきました市民の皆様には感謝申し上げますとともに、今後も、市民の体力向上と健康の保持・増進に向け、ラジオ体操の普及に取り組んでまいります。

スポーツの振興につきましては、現在、「第13回雲仙市民スポーツ大会」が行われているところでございますが、7月27日の総合開会式において、本市のスポーツ振興に貢献された5名の社会体育功労者のほか、スポーツ優秀選手として26名、スポーツ優秀団体として7団体が表彰を受けられました。

表彰された皆様方に対し心からお祝いを申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

地域づくりの取り組みにつきましては、8月に入り各地域で夏祭り等のイベントが盛大に開催され、私もお案内をいただき参加させていただきました。

また、8月25日には、新たなイベントとして、島原半島内

の飲食店やクリエイターが集結し、出店や DJ による盆踊りを楽しむ「島原大半島祭」が小浜町マリパークで開催されました。

このようなイベントは、地域の皆様の交流と、地域の活性化が図られ、さらには次世代を担う子ども達の郷土愛を育み、地域の良き文化が引き継がれていく機会でもあります。

主催者の皆様の運営に対するご尽力に対し、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

人材育成につきましては、職員の情報発信力などの強化や市が抱える課題解決に向けた企画立案を目的として、7月18日から19日にかけてヤフー株式会社の皆様との交流研修を実施いたしました。

今後、ヤフー本社での研修やテレビ会議などを重ね、最終的に、市オリジナルのショッピングページの立ち上げ等の振興策の提案を予定しており、さらなる本市の活性化に寄与するものと期待しております。

瑞穂総合支所の整備につきましては、今年度の4月から建築の専門家や市民の代表者の皆様に組織する「瑞穂総合支所あり方検討委員会」において検討を進められ、7月27日に、

「瑞穂総合支所の建設に関する意見書」が提出されたところでございます。

この意見書をもとに、庁内で更に検討を行い、基本構想・基本計画の素案を作成し、現在、パブリックコメントを実施しているところでございます。

また、現在建設中である（仮称）愛野コミュニティセンターの名称につきましては、7月9日に開催した名称選考委員会の審査により、愛野小学校、山口蓮斗君の「愛の夢未来センター」が最優秀賞として選考され、8月27日に表彰式を実施いたしました。

今後につきましても、建設する施設が市民の皆様から親しまれ、交流と賑わいを創出する施設となるよう、また、市民サービスのさらなる向上が図られるよう、庁舎整備に取り組んでまいります。

「長崎県への施策に関する要望・提案書」につきましては、8月7日、市議会から元村議長をはじめ、議員の皆様とともに、生活基盤の整備、安心・安全なまちづくり、産業の振興等に関する施策など11項目をまとめ、中村知事へ提出いたしました。

今後も、市民の皆様が安心して幸せに暮らせるまちづくりに努めてまいりたいと存じますので、引き続き、議員皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。